

令和2年度 EMC セミナー

高周波電子回路設計技術セミナー（Ⅲ）

ノイズ対策の基礎と 接地・グラウンド Q&A

主催 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場
協力 株式会社 電研精機研究所

近距離無線 NFC の普及や新周波数帯車載レーダーの登場、ビッグデータ収集用のスマートグリッドなど、広大な北海道で電波を利活用する機会が増えています。高度な電子機器の設計・試作開発・生産効率化には「電磁ノイズといかにかうまく付き合えるか」がとても重要です。北海道立総合研究機構では、道内企業への技術普及とスペシャリスト育成をめざし、電磁ノイズ対策技術を習得するセミナーを開催いたします。

令和2年度 EMC セミナー「ノイズ対策の基礎と接地・グラウンド Q&A」

日時 令和3年3月5日（金）

13:30開始 16:30終了予定

場所 オンライン開催（Zoom）

アクセス方法は、申込者に後日お伝えいたします。

費用 無料

セミナー内容

今回のセミナーでは、ノイズトラブルの実態から、「接地」「グラウンド」を含めた対策手法の理解に重点を置いたセミナー内容となっています

- ① 接地（アース）について
 - ノイズ対策の基礎とリターンループ
 - 接地方式の違いとノイズとの関わり。ノイズ対策のための接地。
 - インバータ機器のノイズ対策と接地、など
- ② グラウンドについて
 - グラウンドは分けた方がいいのか？
 - シングルエンドとノーマル化、など

セミナーでは事前に受講者の皆様から接地やグラウンドに関する疑問や質問を受け付け、それらに回答しながら接地グラウンドの理解を深めていきたいと思っております。

講師：株式会社 電研精機研究所

平田 源二 氏

受講対象

- 最新の電磁ノイズ評価に興味がある技術者
- 医療機器や福祉機器おける EMC に興味がある方
- 農業・漁業など一次産業向けの電子機器開発を行っている方
- ドローン（UAV）など無人移動体における無線利用に関心がある方
- 新しい電磁波利活用技術にチャレンジしたい方

研究所・大学・公設試の研究者、学生（電子系専攻）の参加も歓迎します
（本セミナーは電磁ノイズ計測のユーザー企業を対象としております。

トランスメーカーや電源メーカーなど、EMC 部品等のメーカーにお勤めの方
のご参加はご遠慮頂けますと幸いです）

セミナーを受講される方へ

ご参加いただいた企業の皆様には、セミナー参加後のアンケート調査に
ご協力をお願いしております。

お申込み方法

「ご氏名」「ご所属」「電話番号」「E-mail アドレス」を記載の上、
3月1日（月）17：30までに、下記宛に電子メールでお申込み下さい
（お電話では受け付けておりません）。

miyazaki-toshiyuki@hro.or.jp

- メールタイトルは「セミナー参加申し込み」と記載下さい。
- 受講申込された方には、3月3日頃までに Zoom アクセス方法などをメールでお知らせいたします。
- セミナーの録音・録画・撮影（スクリーンショット含む）等は禁止致します。
- セミナー開催にあたり、事前質問をお受けいたします。お申し込み時に併せて記載頂けます様、よろしく願いいたします。
 - ◇ ノイズ対策で困っている事例
 - ◇ 接地方法に関する疑問・質問
 - ◇ グラウンドに関する疑問・質問（時間に余裕があれば、当日のご質問も受け付けます）

お問い合わせ先



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

産業技術環境研究本部 工業試験場

E-mail miyazaki-toshiyuki@hro.or.jp

電話 011-747-2947 担当 宮崎（ミヤザキ）